

# 向山通信

特別号

令和5年2月16日

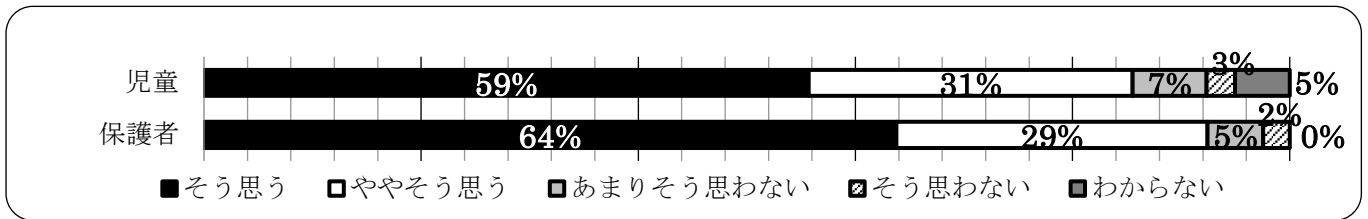


向山小学校の教育目標：○やりぬく子 ○思いやりのある子 ○よく考える子

## 令和4年度 練馬区立向山小学校 学校評価アンケート結果のお知らせ

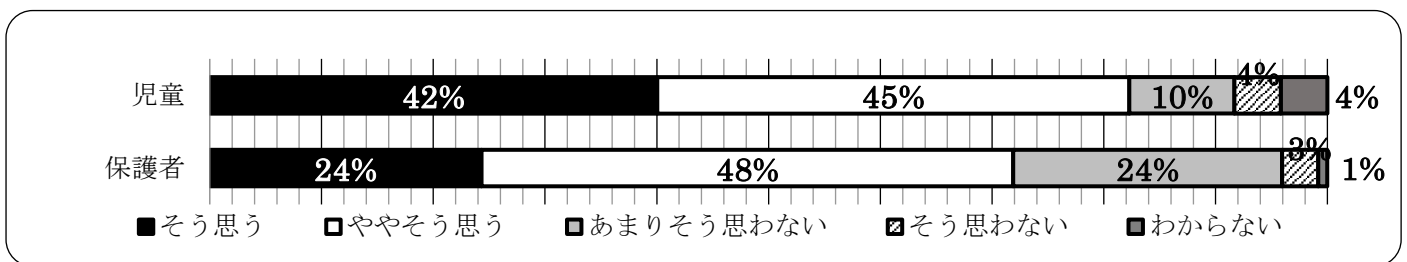
学校評価アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。今年度の調査は令和4年11月7日（月）から25日（金）の間に行い、370名の保護者から回答をいただきました。集計結果をお知らせいたします。なお、児童にも同様の質問を行ったものに関しては、比較のために載せています。※各設問は、児童向けの質問、保護者向けの質問の順に掲載しております。また、回答の割合の数値が四捨五入してグラフに反映させているため合計が必ずしも100%にならない項目もあります。ご了承ください。

**質問1** (児童) 学校生活は楽しい。  
(保護者) 子どもは、楽しく学校に通っている。



質問1では、9割の児童が「学校が楽しい」と答えています。新型コロナウイルスの感染状況に左右され、制限がある中での学校生活でしたが、そのような中でも学校は子どもたちの学びを止めることなく、できることを最大限実施できるようにしてきた結果であると考えます。

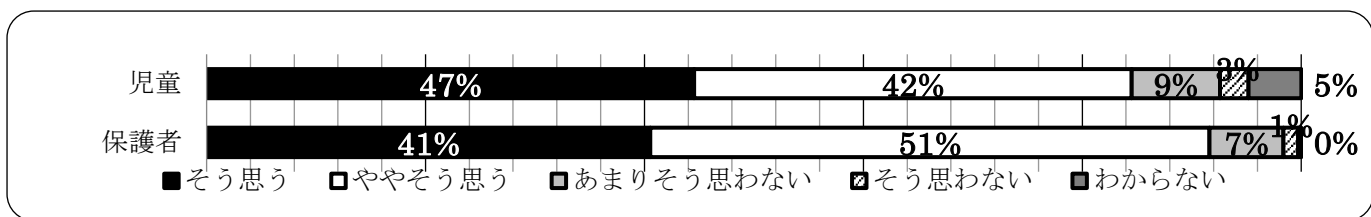
**質問2** (児童) 学校や地域で自分からあいさつしている。  
(保護者) 子どもは、地域や家庭で自分からあいさつをしている。



質問2の「あいさつ」は、ここ数年で評価が大きく好転し、「自分からあいさつしている」と答えている児童が昨年度の85%を更に上回り89%になりました。一方で、保護者の肯定的な評価は昨年度と変わらず72%でした。児童の意識と保護者の意識には17p tと昨年度より大きな開きが見られます。

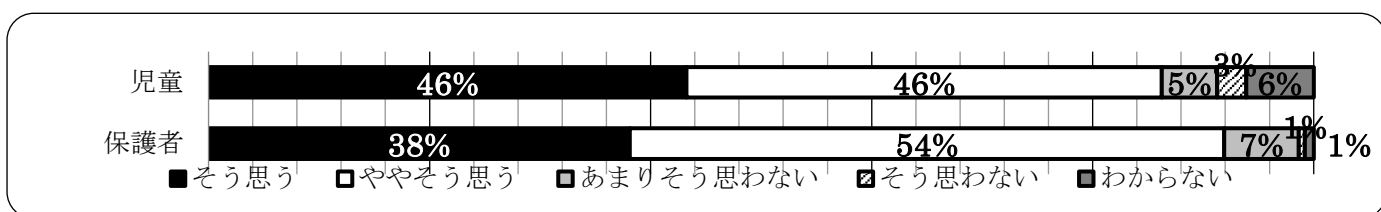
学校の中では全学年を通して自分からすすんであいさつできる児童と、教職員からあいさつしても返って来ない児童との二極化が見られます。学校では引き続き、あいさつの大切さを子どもたちが心から感じられるよう、朝のあいさつ運動の実施や毎月のあいさつ目標の設定、道徳の授業等を通して取り組んでいきます。ご家庭でも、まずは身近な大人が手本を示しながら、家庭や地域でのあいさつの大切さを繰り返し伝えていただけますよう、引き続きよろしくお願いたします。

**質問3** (児童) 学校のきまりを守って生活している。  
 (保護者) 子どもは、地域や家庭できまりを守って生活している。



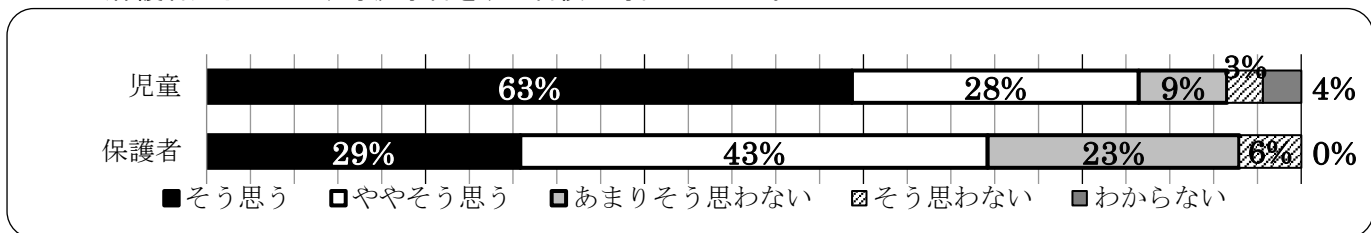
質問3の「きまりを守ること」は、児童、保護者ともに89%が守っていると評価しています。「向山スタンダード」が定着し、子どもたちや保護者の皆様の理解が進んだことが大きな要因の一つと考えます。今後も、子どもたちが安全に学校生活を送れるよう、きまりのもつ意味を一つ一つ分かりやすく伝えてまいります。ご家庭におかれましても、子どもたちがきまりを守って安心・安全に生活できますよう、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

**質問4** (児童) 誰に対しても思いやりの心をもって接している。  
 (保護者) 子どもは、誰に対しても思いやりの心をもって接している。



質問4の「思いやり」は、向山小の学校教育目標の一つでもあります。児童・保護者ともに92%以上が肯定的な評価をしており、向山小のあたたかく穏やかな校風とのつながりが感じられます。学校内に限らず、日常生活の様々な場面で、子どもたちが思いやりの心をもって行動できたときに、周りの大人がそれを見逃さずに褒め、価値付けてあげることで、思いやりの心は更に育まれていくと考えます。これからも、あたたかな見守りや声掛けを続けてくださいますよう、お願いいたします。

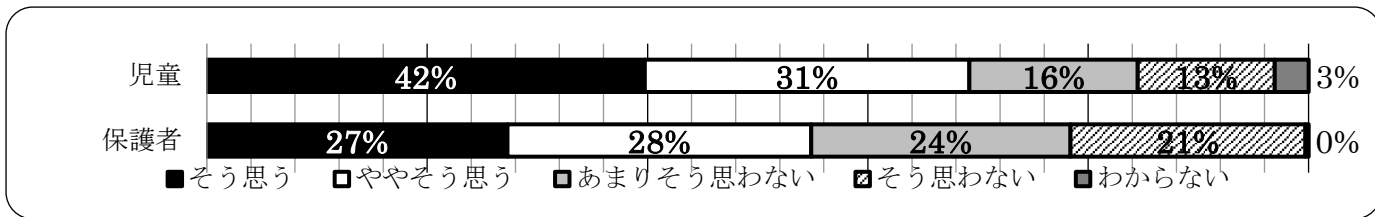
**質問5** (児童) 宿題や家庭学習を毎日している。  
 (保護者) 子どもは、家庭学習をする習慣が身付いている。



昨年度と比較すると、肯定的な回答は、児童は73%から91%に大きく上昇したのに対し、保護者は70%から72%と上昇の幅は2ポイントでした。コロナ禍で学習のスタイルが変わり、一人一台タブレット端末での学習が定着してきていることが、家庭学習にも波及し、児童は宿題や家庭学習をタブレット端末で行う機会が増え、保護者の皆様からは見えにくい部分もあったと考えられます。

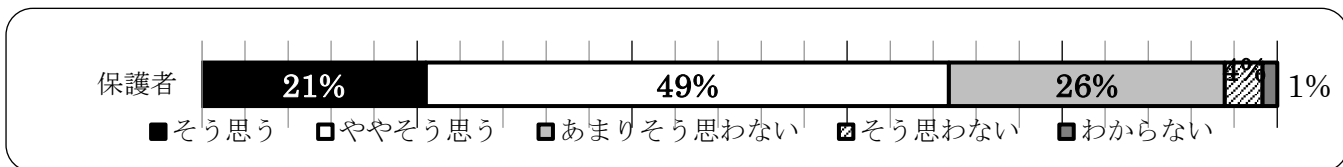
一方で、学年にかかわらず、大きな個人差が生じてきています。音読や漢字、計算など習熟の必要な学習については家庭学習が大きく影響します。家庭学習時間の目標は「10分×学年」と言われています。(4年生ならば、10分×4＝40分) 今後とも、宿題や家庭での自主学習の習慣が身に付くよう取組内容の提示や共有等を図ってまいります。ご家庭でも見守りや声掛けをよろしくお願いいたします。

**質問6** (児童) 家庭で読書をしている。  
(保護者) 子どもは、家庭で読書をしている。



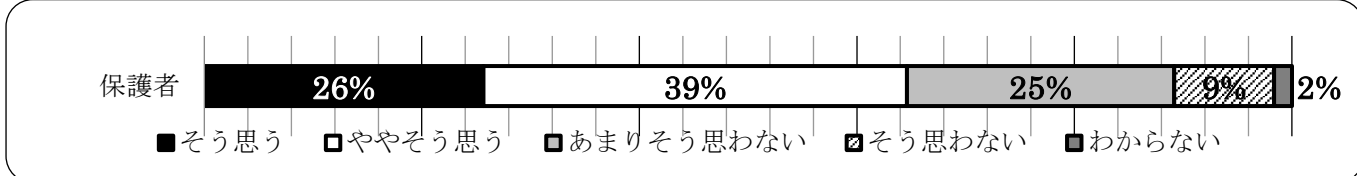
児童の肯定的な評価は昨年度より4 p t 上がって74%になりましたが、保護者は昨年度と大きく変わりませんでした。読書をする時間が減っていると考えられます。また、個人によって読書量にかなりの開きがあることは例年の課題です。今年度、学校では校長や学校図書館職員、図書委員会児童による読み聞かせやブックトーク等を積極的に行ったことが児童の読書への関心を少しずつ高めることに繋がっていると考えられます。来年度も学校では読書の魅力を伝える活動を更に積極的に行っていきます。放課後や土曜・日曜・祝祭日等の学校図書館開放等も是非積極的に活用するよう、ご家庭でもお声掛けください。

**質問7** (保護者) 子どもは、学力が向上している。



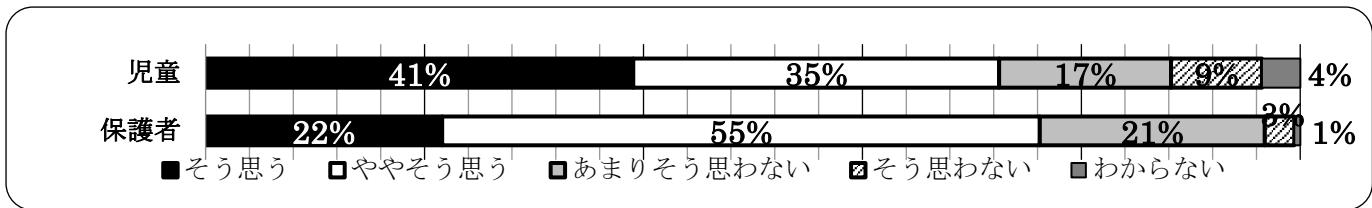
保護者の皆様の肯定的な評価は昨年度同様70%でした。本校では、1・2年生の算数に学力向上支援講師がT.Tで入り、3年生以上の算数は、学年を習熟度別のクラスに分けて指導しています。また、3年生以上の理科は専科教員や時間講師が入り、2人体制で指導をしています。放課後の学力補充教室(向山スクール)では、地域のサポートも取り入れながら、自学自習の習慣の確立を目指しているところです。さらに今年度は国語、社会、算数、生活、学活の教科・領域でICT機器の活用を通じた授業実践を校内研究テーマとして取り組み、教員・児童ともに手応えを感じ始めています。学力向上につながるICT機器の利活用は課題でもありますが、今後もきめ細やかな指導を行い、保護者の皆様より肯定的な評価をいただけますよう努めてまいります。

**質問8** (保護者) 子どもは、体力が向上している。



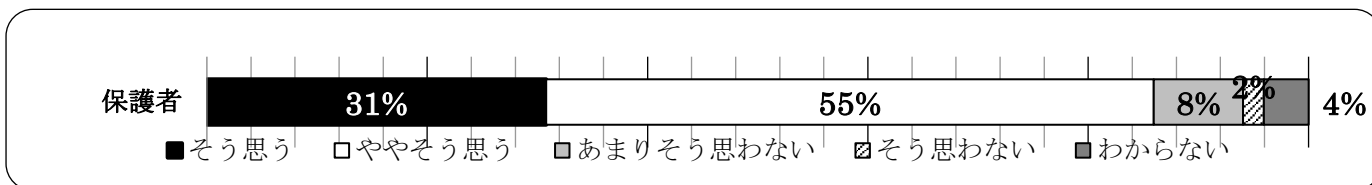
昨年度は67%の保護者から肯定的な回答をいただいていたのですが、今年は65%と微減してしまいました。コロナ禍で、体育の授業にも一部制限が掛かっていますが、実施方法を工夫しながら、学校では計画的に運動できるように努めております。徐々に子ども同士が組み合ったり、接触したりするような運動ができるようになり、子どもたちが楽しみながらすすんで運動に親しめるようにしています。今年度は運動委員会の児童のアイデアで、全校児童が「体力アップビンゴ」に取り組んでいます。学校教育活動外でも、放課後のねりっこひろばや校庭開放の場もあります。積極的な利用に向けてご家庭でも是非お声掛けください。

**質問 9** (児童) 授業では自分の思いや考えを伝えている。  
 (保護者) 子どもは、自分の思いや考えを伝えることができている。



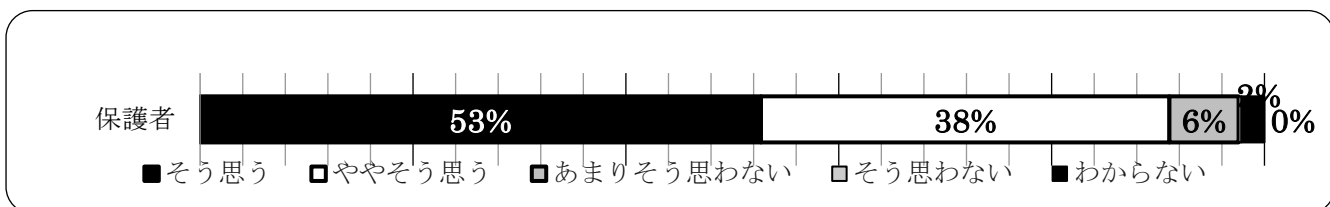
この項目は、向山小の児童の課題である内容ですが、昨年度と比較すると、肯定的な回答は、児童は73%から76%に、保護者は70%から77%へと、少しずつですが上昇が見られました。学校公開では、考えを発表し合うような授業を見ていただく機会が増えました。また、「自分の考えをもち、楽しんで表現する子の育成～ICT機器の活用を通して～」というテーマで校内研究に取り組み、成果が出てきています。今後も引き続き、子どもたち自身が「考えたい」「伝えたい」と思えるような、学習指導の工夫を行うよう努めてまいります。

**質問 10** (保護者) 学校は子どもや保護者が相談しやすい雰囲気や機会を作っている。



昨年度と比較すると、保護者の皆様からの肯定的な回答は81%から86%に5 p tほど上昇しました。困ったときに誰かとつながり、誰かに話せるということは、とても大切なことです。スクールカウンセラーによる5年生対象の全員面談に加え、昨年度から、心のふれあい相談員による3年生対象の全員面談を実施しています。これまでよりも早い3年生という時期に、一人一人の児童の様子を把握しておくことは、大きな意味があると思われまます。また、日常的な相談先として、担任だけでなく、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員等との相談を活用している児童、保護者もいます。しかし、まだ約1割の保護者が「相談しやすい雰囲気や機会を作られていない」と感じている事実もしっかりと受け止め、更に相談しやすい体制づくりに努めてまいります。

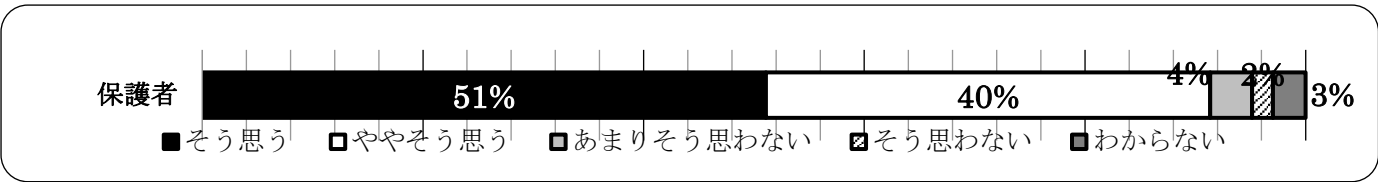
**質問 11** (保護者) 学校は、学校での子どもたちの様子を分かりやすく伝えている。  
 (向山通信、学年だより、ホームページ、学校公開、オンラインによる講座等)



保護者の皆様からの肯定的な回答は昨年度の94%から3 p t減少の91%でした。今年度は、年間で7回の学校公開、12月の展覧会公開を実施することができました。保護者の記述アンケートからは、それ以外の様々なツールでも学校の情報を得ていただけたことが分かります。ホームページでは、今年度は、1月末現在で前年度の150件を大きく上回る260件以上の記事を紹介しました。また、オンラインによる情報発信は、7月9日(土)の道徳授業地区公開講座、9月29日(木)の学校保健委員会、12月10日(土)の保護者向け情報モラル教室、校長による毎週月曜日の保護者向けオンラインなど、学校からの情報発信ツールとして根付いてきているところです。今後、更に多くの保護者の皆様にご覧いただけますよう、見

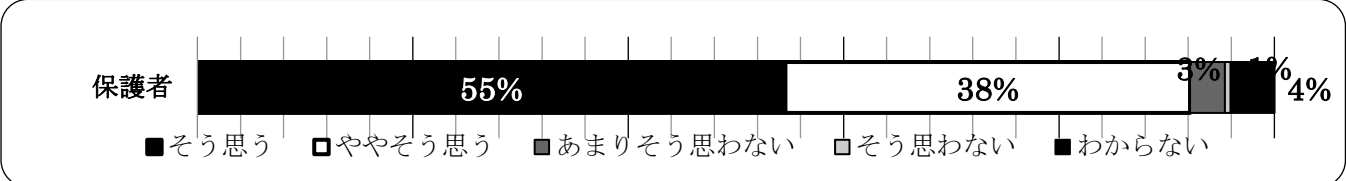
やすく魅力ある情報発信を目指して努めてまいります。

**質問 1 2** (保護者) 学校は、新型コロナウイルス感染防止のための対策を適切にとっている。



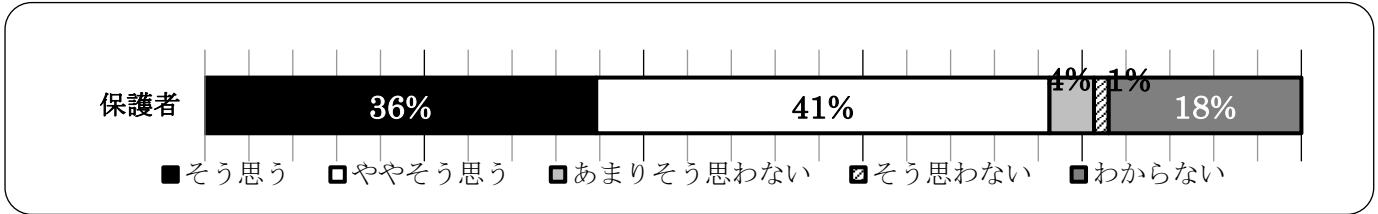
肯定的な回答は91%で、昨年度の95%から4 p t減少しました。学校では、今年度も「練馬区立学校の感染予防のガイドライン」に従って教育活動を進めてきました。注意喚起のために、1月からは「本日の感染者情報のお知らせ」を毎日学校連絡メールにてお知らせしているところです。幸い、本校では集団感染等につながる事例もなく、今日を迎えています。児童や家族に感染や発熱、風邪症状等が出た場合の学校への連絡等、保護者の皆様には日頃からご協力いただきまして本当にありがとうございます。状況に応じて臨機応変に対応するには、常に各ご家庭のご理解とご協力が不可欠でした。また、学校公開、運動会、展覧会等の開催に当たっては、PTA役員さんをはじめ多くの方々のご協力があった、実現することができました。この場をお借りして、深く御礼申し上げます。

**質問 1 3** (保護者) 学校は、子どもの安全・安心の確保に努めている。



昨年度と比較すると、肯定的な回答は96%から93%へと3 p t減少しました。本校は施設の構造上、多くの出入口がありますが、全ての教室に扉の鍵を設置し、児童の登下校の時間以外は東門を施錠、通用門についても常に閉めた状態にすることも徹底しております。また、常時、正門・東門を含め複数の防犯カメラが作動しております。保護者の皆様のご来校の際には、保護者用名札の着用のご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

**質問 1 4** (保護者) 学校は、校内で起こった諸問題について迅速・適切に対応している。



肯定的な評価は昨年度の77%と同じ数値でした。どのような問題であっても、できるだけ早く発見し、迅速に対応していくことが大切です。些細なことであっても、気になること等がありましたら、どうぞ遠慮なく学校にお知らせください。今後も、更に迅速な対応と早期解決に努めてまいります。

学校評価へのご協力ありがとうございました。この結果を、教育活動改善のための貴重な資料とさせていただきます。